



大村市立大村中学校 部活動(運動部・文化部)に係る活動方針

適切な部活動を目指して

部活動は、学校教育の一環として行われるものであり、異年齢との交流の中で、生徒同士、生徒と教師等との好ましい人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して、自己肯定感を高めたりするなど、その教育的意義は大きい。活動においては、生徒が自主的、自発的な参加となるように、実施形態などを工夫するとともに、休養日や活動時間を適切に設定するなど児童生徒のバランスのとれた生活や成長に配慮することが必要である。

スポーツ医・科学的見地から

ジュニア期におけるスポーツ活動時間について、「休養日を少なくとも1週間に1～2日設けること」さらに「週当たりの活動時間の上限は16時間未満とすること」が望ましい。
(公益財団法人 日本スポーツ協会)

バランスの取れた活動

活動においては、児童生徒に、自主的、自発的に参加できるよう、実施形態などを工夫するとともに、休養日や活動時間を適切に設定するなど児童生徒のバランスのとれた生活や成長に配慮することが必要。

スポーツ庁

運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

文化庁

文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン H31. 1

長崎県教育委員会

長崎県運動部活動の在り方に関するガイドライン

長崎県文化部活動の在り方に関するガイドライン R1. 8以降

大村市教育委員会

大村市立中学校運動部活動の方針

「生徒のバランスのとれた生活と成長の確保」「スポーツ障害の予防」のほか、スポーツ医・科学的な必要性や、生徒の発育・発達過程で最高のパフォーマンスの発揮や本人のやる気・意欲の向上のためにも、競技や種目の特性を踏まえつつ、運動部活動において適切な休養日及び活動時間を設定すること。(一部抜粋)

大村市立中学校文化部活動の方針

「生徒のバランスのとれた生活と成長の確保」「障害・外傷の予防」のほか、生涯にわたって芸術文化等の活動に親しむ基礎を形成するためにも、分野や活動目的等の特性を踏まえつつ、文化部活動において適切な休養日及び活動時間を設定すること。(一部抜粋)

運動部・文化部活動に係る学校の実情等

【生徒や保護者、地域の実情】

○設置する運動部活動
陸上競技・軟式野球・ソフトボール・サッカー・ソフトテニス・バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球・柔道・剣道・水泳・吹奏楽部・美術部

○令和元年度部活動加入者

運動部活動
加入率 63.8%
文化部(吹奏楽・美術)
加入率 15.7%

○校区内小学校社会体育

旭ヶ丘小学校区
・サッカー・野球・ドッジボール・バレーボール・バドミントン・剣道・合唱団
三城小学校区社会体育
・サッカー・野球・バレーボール・バスケットボール・剣道

【施設等の使用状況】

陸上競技部や水泳部において他の施設を利用し、活動をしている。その為、学校に申請し、自転車点検を受けた生徒に関しては、自転車を利用して移動をしている。



本校の活動方針

【部活動のねらい】

部活動は学校教育の一環として行われるものであり、部活動を通して生涯にわたってスポーツに親しむ態度を育て、体力・技術の向上や健康の増進を図るものとする。さらには、生徒の自主性・協調性・責任感・連帯感などを育成するとともに、部員同士が同じ目標に向かって取り組むことで、豊かな人間関係を築くなど、生徒の健全な心身の発達を図ることを目的とする。

【休養日及び活動時間】

○休養日
学期中は、週あたり2日以上休養日を設けること。その場合は、平日は少なくとも1日、土曜日および日曜日は少なくとも1日以上とし、家庭の日(第3日曜日)は部活動を実施しない日(ノー部活デー)と位置づけること。その際、週末や家庭の日に大会参加等で活動した部活動は、翌月曜日や連休最終日を休養日にするなど、休養日を他に振り替え、適切に休養日を設定すること。
○活動時間
活動時間・下校時間は、年間を通して最大18時30分(15分後完全下校)までとし、日没の関係を考慮しながら各クラブで決定するものとする。

【学校単位で参加する大会等について】

中学校体育連盟または、中学校文化連盟が主催・共催する大会への参加 2回(中総体、新人大会、吹奏楽コンクール、アンサンブルコンクール)。その他の大会については、年間7回程度を上限とし、参加する大会等を精査すること。

【活動計画立案(大会参加の目安を含む)及び提出と公開】

各部活動で、別紙「部活動年間活動計画」を記入し、ホームページに掲載し、教員や外部指導者、保護者に周知する。

【研修参加及び情報の共有、保護者や外部指導者との連携】

指導者・外部指導者・保護者向けに部活動における研修会を行い、情報共有だけでなく、連携を密にする機会を意図的に設ける。

【熱中症等の事故防止について】

事故防止のために、生徒の発達段階に合わせた練習内容の精選、使用する施設、設備、用具の定期的な点検や修繕を行う。また、事故が起こった場合の対処方法や連絡体制を、外部指導者や保護者にもとともに連携を図りながら、具体的に確率する。

【生徒のニーズを踏まえた運動部設置の検討】

設置の予定はない。